

# 工事説明書

品名コード

FB4504PF

特定保守製品

## 食器洗い乾燥機(家庭用) ビルトイン(幅45cm)パネル材タイプ

### 特定保守製品に関するお願い

- ・本製品は、消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。
- ・特定保守製品とは「経年劣化により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況からみてその適切な保守を促進することが適切なものとして政令で定めるもの」です。
- ・付属の取扱説明書と所有者票(黄色)は、必ず特定保守製品取引事業者またはお客様(消費者、賃貸業者等の所有者)にお渡しください。
- ・消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は製品の製造・輸入業者(特定製造事業者等)に対して、所有者情報を提供する責務が定められています。

### 事業者のみなさまへ

**所有者が所有者票の送付などにより所有者登録を必ず行うようご協力をお願いします。**

### 流通のみなさまへ=情報伝達のお願い=

この製品に同こんされている所有者票は、特定保守製品取引事業者(住宅販売事業者・販売店など)が所有者への法定説明や所有者登録への協力を行うために用い、その後、特定保守製品取引事業者から所有者へ渡していただく必要があります。

製品の流通段階での周知を含め、所有者票を必ず特定保守製品取引事業者に渡していただくよう情報伝達をお願いします。

### 関連事業者(設置事業者)さまへ

この機器は消費生活用製品安全法(消安法)で指定された「特定保守製品」ですので、設置事業者は消安法上、この機器の設置の際に所有者に対して、点検期間中に点検を行うことが必要であるとともに、この機器の製造事業者に所有者登録や所有者情報の変更をしているか、登録や変更がなされていないようであれば、所有者にその必要性を伝える責務があります。

また、同こんされている所有者票を必ず販売事業者(特定保守製品取引事業者)にお渡しください。(既に販売事業者から所有者へ渡されている場合は除きます。)

### 販売事業者(特定保守製品取引事業者・販売店)さまへ

この機器は消費生活用製品安全法(消安法)で指定された「特定保守製品」ですので、販売事業者は消安法上、所有者に所有者票を示して「お客さまへ(法定説明事項)」にある下記項目を説明する義務があります。また、所有者に所有者登録を必ず行うようお願いしてください。(登録の方法については所有者票をご覧ください。)

- ・この製品は経年劣化により危害をおよぼすおそれがあるため、この製品の所有者は点検期間に法定の点検(有料)を受けるなどの保守を行うことが求められています。
- ・この製品の所有者は所有者票の送付などにより、この製品の製造事業者に所有者登録することが求められています。
- ・この製品の所有者はこの製品の製造事業者から点検期間の始まる時期に法定の点検通知を受けることになっています。
- ・この製品の所有者は所有者登録の情報に変更があった場合は変更の登録が求められています。(変更の方法については所有者票をご覧ください。)
- ・所有者登録のため、この製品の所有者から所有者情報のご提供を受けた場合には、販売事業者は所有者票の送付などの方法でこの製品の製造事業者に所有者情報を提供することになっています。



59238710

ケG87-01

# 1. 設置される方へ

この「工事説明書」を設置前に必ずお読みください。

◎この製品は第三者認証機関より『給水装置の構造および材質の基準(厚生省令)』に適合するとの証明を受けています。

◎設置が終わりましたら、(設置後の点検確認)のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。



警告



必ず守る

この『工事説明書』に従い、有資格者による正しい工事を行う。



必ず守る

配管工事は全て水道法・建築基準法・各都市の条例・規定に準じて行う。



必ず守る

電気配線工事は電気設備技術基準や、内線規程に準じて行う。

配線工事は電気工事士の資格が必要です。



必ず守る

設置後は(設置後の点検確認)のチェックリストに基づいて、必ず点検する。  
思いがけない事故の原因になります。



必ず守る

設置後は別添の『取扱説明書』や『チラシ』などに従い、安全上のご注意と使いかた、  
特定保守製品と点検について、をお客様に説明する。

誤った使用をされた場合、重大な事故の原因になります。

## 設置後の点検確認

### ・チェックリスト

点検項目	点検内容	参照ページ	チェック
機器及びその周辺	ドアの開閉	他の機器への障害はありませんか。	6
	電源(電圧)	100Vの専用回路に接続しましたか。	7・15
	排気口の調整	カウンターの最前部より5mm程度出ていますか。	17
給水・排水接続	給湯器との接続の場合	指定する給湯器に接続されていますか。	9
	フィルター	フレキシブルホースと止水栓との接続部にフィルター付きパッキンを挿入しましたか。	17
電気接続	排水ホース	排水管との接続部が確実に接続したことを確認しましたか。 また、押しつぶされたり無理に折れ曲がったりしていませんか。	16
	電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V15Aのアースターミナル付埋込コンセントに接続しましたか。	7・15	
転倒防止	アース線を接続しましたか。	7・15	
	本体の調整脚が転倒防止金具にセットされていますか。 ドアを開けたとき、本体が倒れませんか。	10・16	
カウンターへの固定	カウンターへの固定をしていますか。 ドアを開けたとき、本体が前へ移動しませんか。	17	
試運転	試運転を行い、正常に動作しましたか。	18	
	給水・排水ホース接続部に水もれはありませんか。	18	
漏電ブレーカー	試運転後、ブレーカー(機器用)は「ON」のままにしていますか。	18	
止水栓・給水栓	止水栓・給水栓は開きましたか。	18	

## お客様への取扱説明



- 別添の『取扱説明書』に従い、使用上の注意事項・正しい使用方法をお客様に説明してください。
- 保証書(取扱説明書に記載)に必要な事項を記入のうえ、この『工事説明書』とともにお客様に渡していただき、保管のお願いをしてください。
- 設置後、お客様に異常報知発生時の処置(取扱説明書 P22)のため、止水栓の位置や専用回路のブレーカーの位置を説明してください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください。

## 絵表示について

この工事説明書では、製品を正しく設置していただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含みます。  
 ※警告・注意表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を薄めの文字で表記しています。  
 (例：やけどのおそれがあります。)

## 絵表示の例



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合はアースを確実に取り付けてください)が描かれています。

## 警告



・修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理は行わないでください。  
 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



・定格15A以上のコンセント(専用)を単独で使ってください。  
 他の機器と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



・アースを確実に取り付けてください。  
 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。



・水につけたり、水をかけたりしないでください。  
 ショート・感電の恐れがあります。



・電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。  
 火災の原因になります。



・火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近付けないでください。  
 変形や火災の恐れがあります。



・電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。  
 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。



・ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。  
 感電の原因になります。



・コンセントを床面にころがして、電源プラグを差し込み使用しない。  
感電・漏電や火災の原因になります。



・延長コードは使わない。  
発火による火災の原因になります。



・電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。  
感電・ショート・発火の原因になります。



・ビルトインのとき電源コード・アース線・給水管・排水ホースに傷つけない  
感電・漏電・火災や水漏れの原因になります。

## ⚠ 注意



必ず守る

- ・電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。  
感電やショートして発火することがあります。



禁止

- ・電源コードを傷付けたり、熱器具に近づけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



禁止

- ・交流100V以外では使用しないでください。  
火災・感電の原因となります。



必ず守る

- ・高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付けてください。

## も く じ

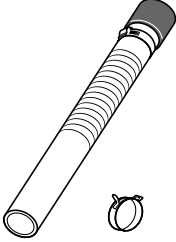
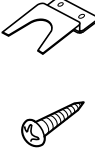
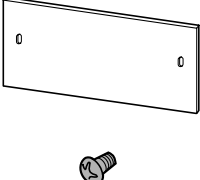
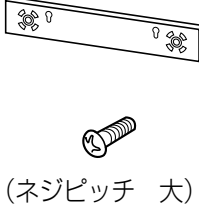
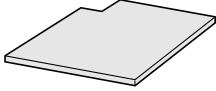




- |                          |     |                         |       |
|--------------------------|-----|-------------------------|-------|
| 1. 設置される方へ . . . . .     | 1   | 7. 給湯器について . . . . .    | 9     |
| 2. 開こん(付属品の確認) . . . . . | 4   | 8. 設置手順 . . . . .       | 10~17 |
| 3. 各部のなまえと寸法 . . . . .   | 5   | 9. 試運転 . . . . .        | 18~19 |
| 4. 設置場所について . . . . .    | 6   | 10. 試運転終了後の作業 . . . . . | 20~21 |
| 5. 電気工事について . . . . .    | 7   | 11. 仕様 . . . . .        | 22    |
| 6. 給・排水工事について . . . . .  | 8~9 |                         |       |

## 2. 開こん




### ▣付属品の確認

次の部品が付属品として同こんされています。不足のないことを確認してください。  
本体およびかごのテープ、ダンボールなどは全部取りはずしてください。

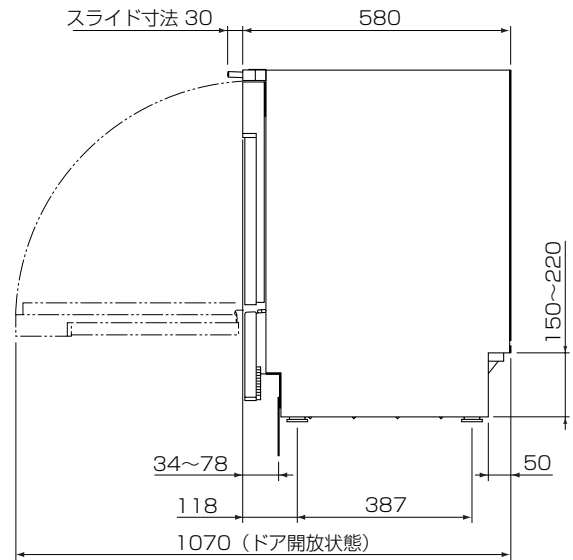
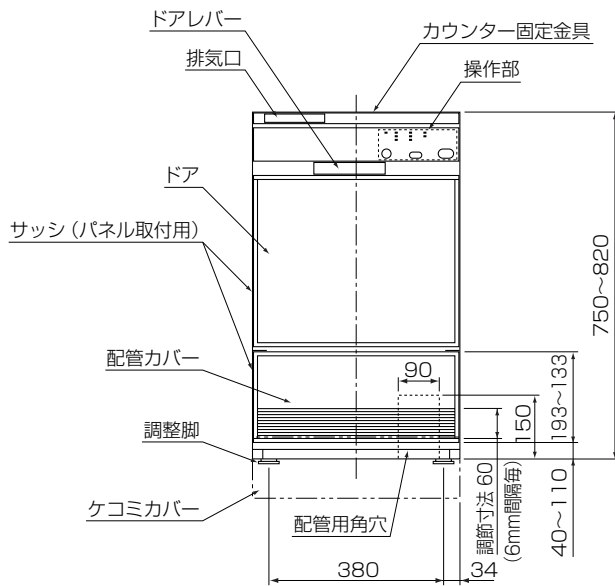
#### ◎設置に必要な付属品

部 品 名	形 状	数 量	部 品 名	形 状	数 量
排水ホースセット (・排水ホース：60mm) (・ホースバンドネジ式) (・排水ホース継手) (・ホーススプリング) ホースバンドバネ式		1セット  1個	転倒防止金具  タッピンネジ(呼び4×18)		1個  2本
ケコミカバー  小ネジ (黒色) (M4×6)		1枚  2本	ケコミカバー取付金具  タッピンネジ (呼び4×10)		1枚  2本 (ネジピッチ 大)
型紙		1枚	配管カバー取付ネジ タッピンネジ (呼び4×10)		2本 (ネジピッチ 小)
			タッピンネジ (呼び4×18)		2本
フィルター付きパッキン (給水フレキシブル管 にテープ止めして付属)		1個	工事説明書		1冊

#### ◎ご使用時に必要な付属品

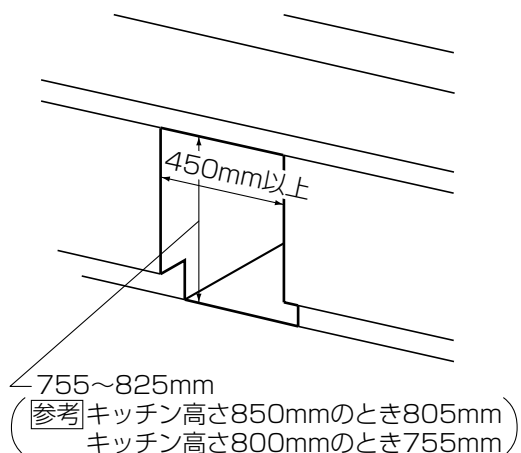
部 品 名	形 状	数 量	部 品 名	形 状	数 量
取扱説明書 ご使用ガイド		1冊 1枚	専用洗剤 (100g) 計量スプーン付		1個
			乾燥仕上げ剤		1個

### 3. 各部のなまえと寸法



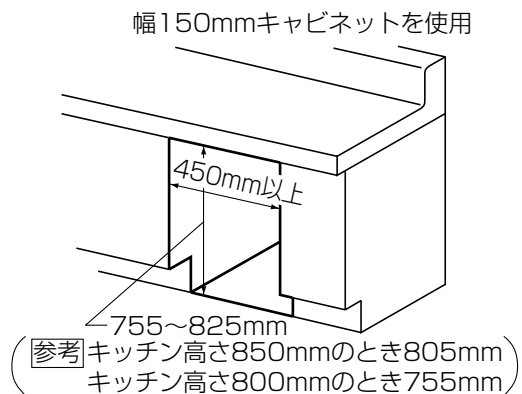
## 4. 設置場所について

### 中間にビルトインする場合



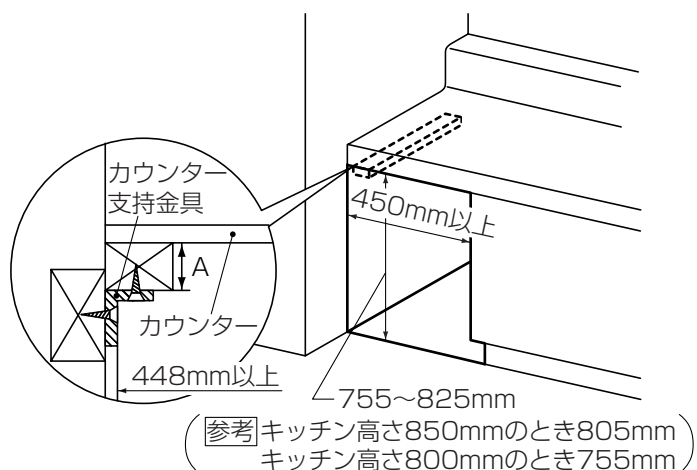
### 片側がフリーの場合

- 片側がフリーの場合は幅150mmキャビネットなどを使用して、カウンターを支える処置をします。



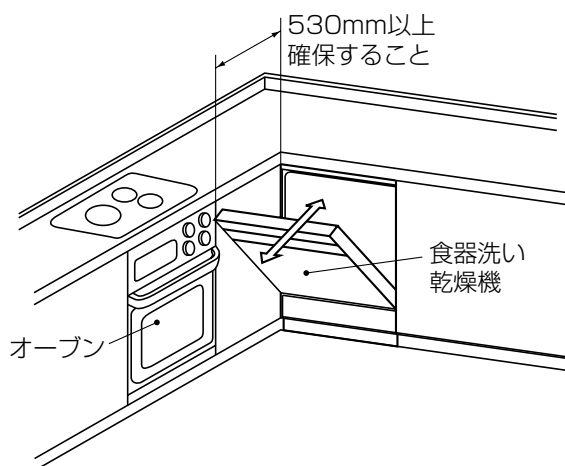
### 片側が壁面または、トールユニットの場合

- カウンター支持金具は、別売の**天板補強材キット (FP0109)** または、市販のL金具を使用します。
- ※締結ネジの長さは、右図のA寸法より5mm以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。  
(電気設備の技術基準の解釈により義務づけられています。)
- ビルトイン型加熱機器などと並べて設置する場合は、別売の**天板補強材キット (FP0109)** でカウンターの補強処置を施してください。
- 〔参考〕寸法はカウンタ厚さ45mmでカウンタ下面と本体上面とのすきまを5mmとしたときの寸法です。



### お願い

- L型配列のコーナー部に設置すると、本機器のドアを開閉する際にオープンなどの取っ手部に当たったり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでドア開閉のスペースを確保してください。
- ※本機器の金属部分が、家屋の壁中のラス網や金属板・流し台のステンレス天板と電氣的に接触しないようにしてください。  
(電気設備の技術基準の解釈により義務づけられています。)



# 5. 電気工事について

## 1. 電源の確認

工事は全て電気設備技術基準に準じて行ってください。

### 1-1 電源仕様

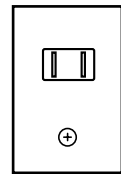
#### ⚠ 警告



必ず守る

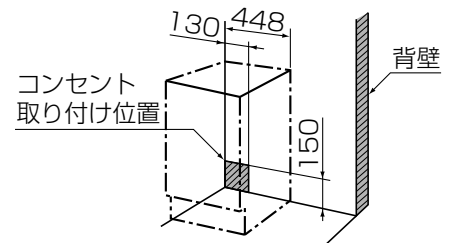
- ・ 定格15A以上のコンセントを単独で使用する。  
他の機器と併用すると分岐コンセント部の異常発熱により発火するおそれがあります。

- ・ 本機器は100V仕様、50Hzと60Hzは共用です。
- ・ 電源回路は100V・15A以上の専用回路が必要です。
- ・ コンセントは125V・15Aのアースターミナル付埋込コンセントを設けてください。



### 1-2 コンセントの取り付け位置

- ・ コンセントは本体を設置する場所の背面に設けてください。  
(コンセントを壁面に必ず固定してください。)



### 1-3 アース線の取り付け

#### ⚠ 警告



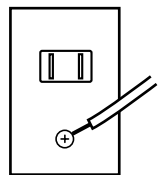
アース必要

- ・ アース線を確実に取り付け、電路に漏電しゃ断器を設置する。  
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

※主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、漏電しゃ断器を新設する必要はありません。

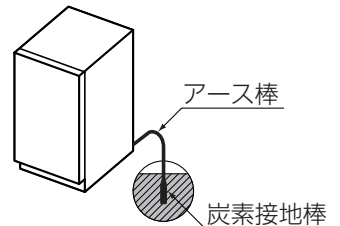
### 1-4 アースターミナル付き埋込コンセントにアースする場合

- ・ アース線を確実にアースターミナルに接続してください。



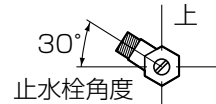
### 1-5 炭素接地棒でアースする場合

- ・ アース工事は必ずお買い上げの販売店または、電気工事店に依頼してください。  
(電気工事士の有資格者がD種接地工事をするよう法令で定められています。)
- ・ ガス管・水道管・電話のアース線・避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。  
(法令などで禁止されています。)
- ・ 設置場所の変更やご転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。  
(アース工事は有料ですが、ご了承ください。)

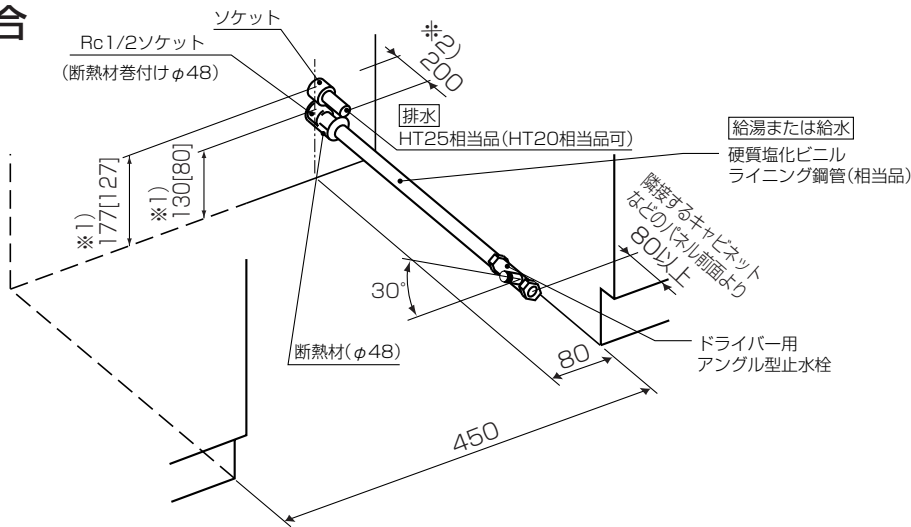


# 6. 給・排水工事について

- ◎本機器が使用できる水道水圧は0.03～1MPa (0.3～10kgf/cm<sup>2</sup>) の範囲ですが、配管によっては圧力が上昇する場合がありますので、0.6MPa (6kgf/cm<sup>2</sup>) を越える場合や台所の水栓などの操作時に水道配管の異常音（ウォーターハンマー現象）が発生する場合は減圧弁を必ず取り付けてください。
- ◎本機器は配管直結タイプのため設計および施工工事の段階で給・排水の位置決めを正確に行ってください。
  - ・給水・給湯管は硬質塩化ビニルライニング鋼管（相当品）を使用して断熱材を巻いてください。（給湯の場合は必ず耐熱配管にします。）
  - ・排水本管に至るまでの接続部分も耐熱塩化ビニル管（HT25相当品）を使用してください。
  - ・配管用接着剤は、耐熱用を使用してください。
  - ・ドライバー用アングル型止水栓を必ず取り付けてください。（止水栓は閉じた状態で、出口角度を約30°上向きにしてください。）
  - ・排水管は給水管の上に配置します。

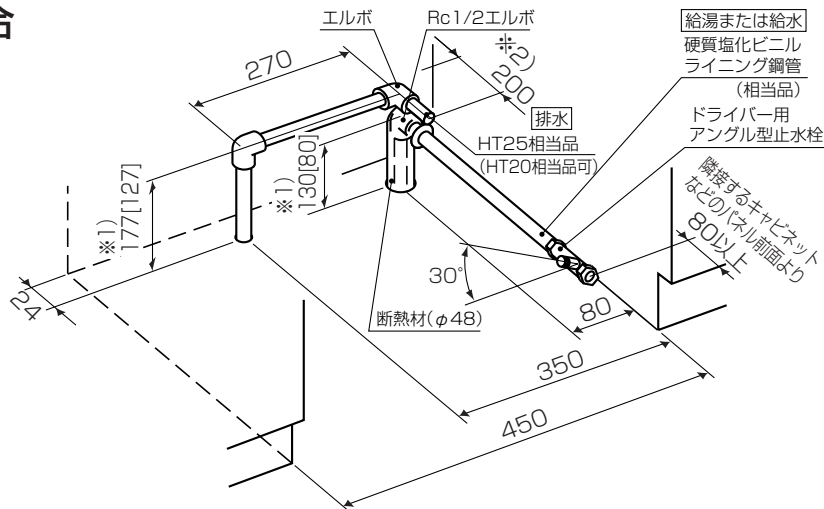


## 壁出しの場合



- ※1) 寸法はキッチン高さ850mmの場合を示し [ ] はキッチン高さ800mmの場合を示します。
- ※2) 排水管の長さ200mmは、キッチン奥行L=60cm基準です。（キッチン奥行が長い場合は、延長してください。）

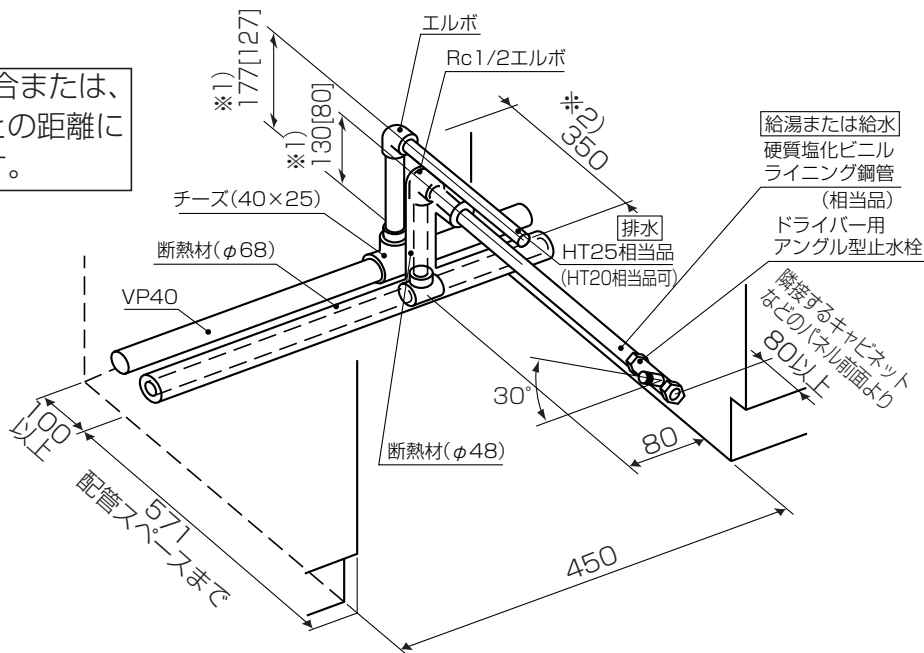
## 床立上げの場合



- ※1) 寸法はキッチン高さ850mmの場合を示し [ ] はキッチン高さ800mmの場合を示します。
- ※2) 排水管の長さ200mmは、キッチン奥行L=60cm基準です。（キッチン奥行が長い場合は、延長してください。）

## 床ころがしの場合

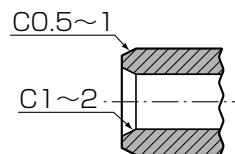
キッチン奥行L=75cmの場合または、壁面と食器洗い乾燥機背面との距離に余裕がある場合のみ可能です。



- ※1) 寸法はキッチン高さ850mmの場合を示し [ ] はキッチン高さ800mmの場合を示します。
- ※2) 排水管の長さ350mmは、キッチン奥行L=75cm基準です。  
(キッチン奥行に合わせて長さを調節してください。)

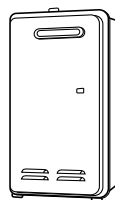
## お願い

- ・排水管HT25の端面内周に、面取り(C1~2)を施してください。
- ・給・排水管の端面は、バリのないよう処理し、かつ管内に残っている異物(切り粉など)を完全に取り除いてください。
- ・給水管工事後、管路には工事に伴うゴミやスケールがたまっています。これらのゴミ類は、本体側給水管(フレキシブル管)のナット部に入っているフィルターに目詰まりし、給水不良の原因となります。このため、本体の給水管(フレキシブル管)を接続する前に、止水栓を開き、水受け容器などに水を出しゴミが出なくなってからフレキシブル管に接続してください。
- ・元付け型の浄水器に接続しないでください。また、本機への接続経路に浄水器を接続しないでください。元付け型の浄水器や本機への接続経路に浄水器が接続されていると、残留塩素濃度が0.1ppm以下(水道法基準は0.1ppm以上と規定)となり、浄水器以降の屋内に給水される水が、細菌などに汚染(繁殖)されるおそれがあります。それにより、給水経路が詰まり、給水不良が発生するおそれがあります。



## 7. 給湯器について

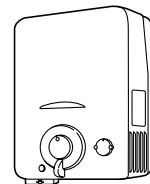
- ◎給湯接続すると運転時間が大幅に短縮されます。時間短縮をのぞまれる方は給湯接続をおすすめします。
- ◎給湯は10号以上の先止め式給湯器などで60℃以下の温度に調整可能なものに接続してください。



先止め式給湯器に接続してください。



禁止



元止め式湯沸器に接続しないでください。

## ⚠注意



必ず守る

- ・小型深夜電力利用温水器・元止め式湯沸器からの配管は絶対にしない。機器へ給水されなかったり湯沸器からの水漏れのおそれがあります。
- ・食器洗い乾燥機の水道水圧は、0.03~1MPa(0.3~10kgf/cm<sup>2</sup>)の範囲で使用してください。  
とくに0.6MPa(6kgf/cm<sup>2</sup>)以上では、給湯器に所定の減圧弁を必ず取り付け。水漏れの原因になります。

# 8. 設置手順

## 1. 転倒防止金具の取り付け

◎必ず転倒防止金具を取り付けてください。

作業手順	説明図
<p>①型紙(本体天面のダンボール)を床面に敷き、右図のように隣接するキッチンのドア面に合わせてください。</p> <p>※直角ゲージ(金尺、三角定規など)で正確に型紙を当てて位置決めしないと転倒防止の機能がはたされません。</p> <p>②切り欠き部に付属の転倒防止金具を置いて、同こんのタッピンネジ(呼び4×18)で床面に取り付けてください。</p> <p>③型紙をはずしてください。(取り付け完了。)</p>	

## 2. 本体の高さ調節

### ⚠ 注意



必ず守る

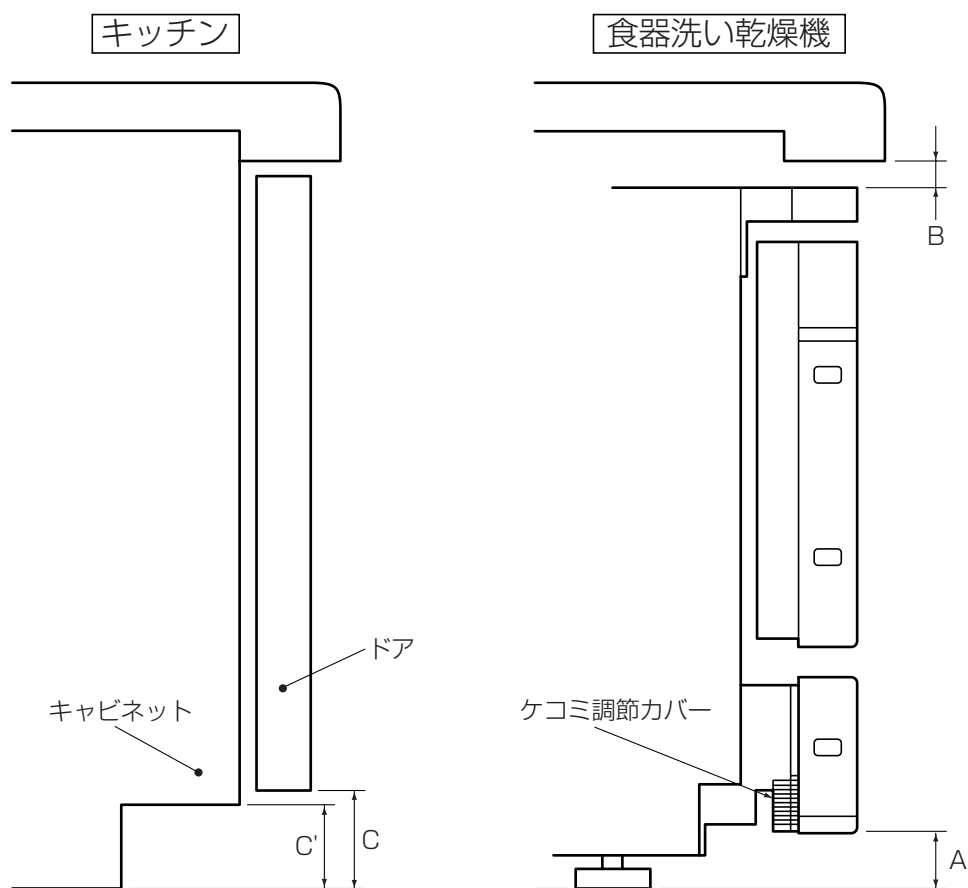
- ・必ず機器が水平になるように脚の高さを調節する。  
水漏れの原因になります。

作業手順	説明図
<p>・カウンターと本体のすき間が約5mmになるように、スケールなどで測って調整脚の高さを調節してください。(調整脚の回転は、電動ドライバーでも調節できます。)</p> <p>※本体の一部と金属製のカウンターを接触させないでください。(電気設備の技術基準の解釈により義務づけられています。)</p> <div data-bbox="193 1809 336 1863" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>お願い</b></p> <p>本体底のトンネル部に挿入されている梱包材を取り除いてください。</p> </div>	

### 3. 配管カバーの高さ調節（ケコミ高さ寸法合わせ）

#### ■ケコミ高さ調節可能タイプ

##### キッチンと食器洗い乾燥機のケコミ高さ寸法の関係



- ・この食器洗い乾燥機のケコミ最小寸法（A）は本体の高さ調節によって変わります。
- ・本体高さは、ワークトップ下面と本体上面のすきま（B）が約5mm（2～8mm）になるように調節します。
- ・本体のケコミ寸法はA寸法より6mmおきに11段階（60mm）ケコミ調節カバーをカットして行えます。
- ・本体のケコミ調節寸法は6mmごとしか調節できませんのでキッチンのケコミにピッタリ合わせるには、キッチンのケコミ高さ寸法をドア下端（C）またはキャビネット下端（C'）のどちらか近い方に合わせ、本体を微調節して合わせてください。

## ケコミ高さ調節カバーのカット段数を決める

①A寸法（ケコミ最小寸法）を算出する。

$$A = \text{本体高さ} - 710$$

注.本体高さはB寸法を5mmとして仮に決めます。

本体高さB寸法は、このあとの微調節によって変化します。

A 寸 法

②キッチンのC及びC'寸法を測る。

C 寸 法	C' 寸 法

③ケコミ調節カバーのカット段数を求める。

$$\text{カット段数} = \frac{C(C') - A}{6}$$

カット段数	あ ま り

C、またはC'で計算してあまりがなければケコミ高さはピッタリ合いますので本体高さの微調節は不要です。

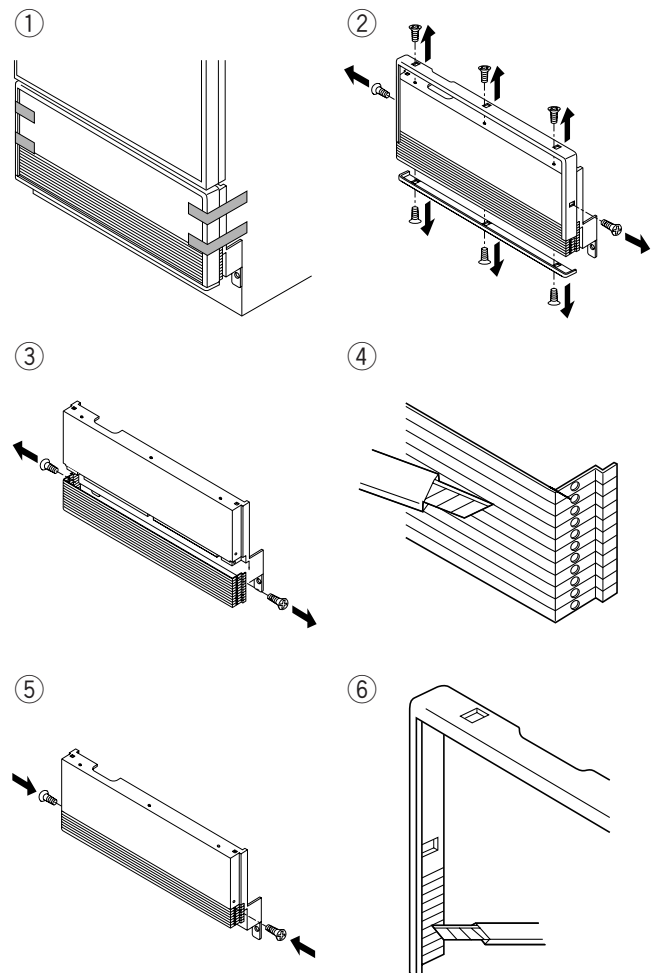
・あまりが出たとき

あまりが1～3mmの場合はカット段数はそのまま本体高さをあまり（1～3mm）寸法だけ高く微調節します。

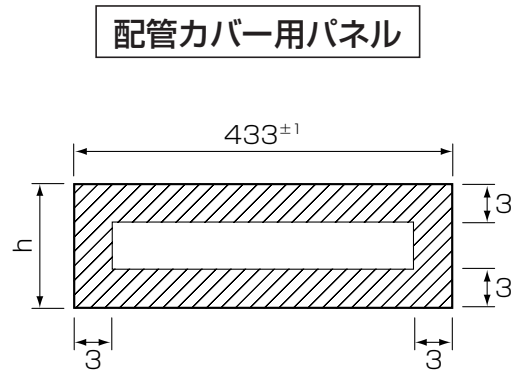
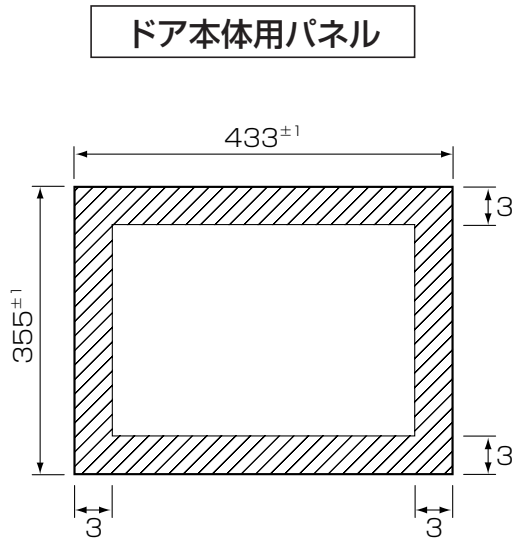
あまりが4mm～5mmの場合は、カット段数を1段増やし、本体高さを（6mm－あまり寸法）だけ低く微調節します。

## ケコミ高さ調節カバーのカット

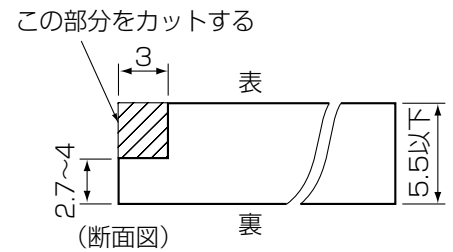
- ①配管カバーを固定しているテープ（4カ所）をゆっくりきれいにはがした後、配管カバーを少し持ち上げるようにして本体から取りはずしてください。
- ②配管カバーパネル押さえ（上）の上辺（3本）、左右（2本）、配管カバーパネル押さえ（下）の（3本）のネジをはずして、配管カバーパネル押さえ（上）・（下）を取りはずしてください。
- ③ケコミ高さ調節カバーの左右（2本）のネジをはずし、ケコミ高さ調節カバーを取りはずしてください。
- ④カットすべきV溝の表・裏の両面にそってノコまたは、カッターナイフなどで切断してください。（カット段数は上記参照）
- ⑤配管カバーにケコミ高さ調節カバーを左右（2本）のネジで取り付けてください。
- ⑥配管カバーパネル押さえ（上）〈コの字サッシ〉を、ケコミ高さ調節カバーのカットした段数と同じだけ、裏面の溝にそってノコまたはカッターナイフなどで切断してください。



## 4. パネル材の寸法



※厚さ4mm以上、5.5mmまでのパネルを使用する場合は、外周(斜線で示した部分)の表面を、厚さ4mm下になるようにカットしてください。



◎配管カバー用パネルのh寸法はケコミ高さ調節カバーのカット段数で決まります。下表に従ってh寸法を決めてください。

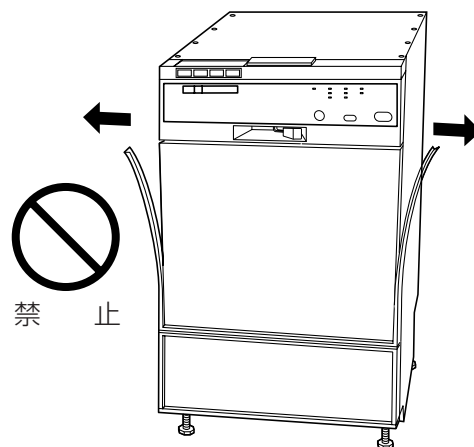
カット段数	h寸法(mm)
0	181
1	175
2	169
3	163
4	157
5	151
6	145
7	139
8	133
9	127
10	121

## 5. パネル材の取り付け

◎前面パネル(別売品)を必ず取り付けてください。

### ⚠ 注意

- ・ドア本体パネル押え上部を無理に広げない。  
ドア本体パネル押えが破損するおそれがあります。
- ・ドア本体パネル押えのネジは電気ドライバで締め付けない。(手締めしてください)  
ドア本体パネル押えの取付穴が破損するおそれがあります。



作業手順	説明図
<p><b>【配管カバー用パネル】</b>  <b>ケコミ高さ調節可能タイプ</b></p> <p>①パネル材を配管カバーの前面上に置き、配管カバーパネル押え(上)〈コの字サッシ〉を上からかぶせ、上辺の3ヶ所および左右2ヶ所をネジで締め付けてください。</p> <p>②下辺の配管カバーパネル押え(下)を3ヶ所のネジで締め付けてください。</p>	<p>①・②</p>
<p><b>【ドア本体用パネル】</b></p> <p>③7ヶ所のネジを5mm程度ゆるめてドア本体パネル押えを手前に引き、外方向へ少し広がる状態にします。          ※ネジをはずす必要はありません。</p> <p>④パネル材をドアパネル本体押え左側とドアの間に挿入し、ドア本体パネル押え下部まで入れ、右側をドア本体パネル押え内におさめます。</p> <p>⑤ドア本体パネル押えの下方を少し持ち上げ、パネル材をドア上部の溝部にはさみ、サッシを押しこみながら、下から順に7ヶ所のネジで締め付けます。</p>	<p>③・④・⑤</p>

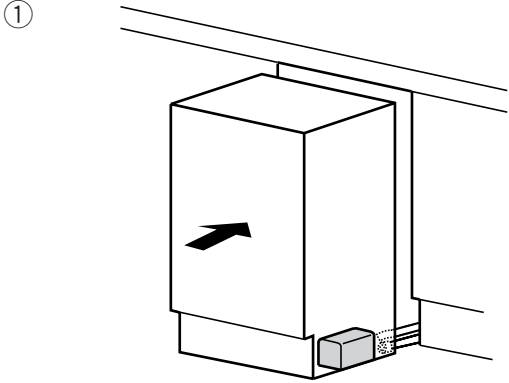
## 6. 排水管と排水ホースの接続

作業手順	説明図
<p>①排水ホースセットを排水管に接着してください。ソケットを排水管HT25相当に十分に挿入して接着してください。</p> <p>※接着剤は耐熱用を必ず使用してください。</p> <p>・HT20への接続はホースバンドをゆるめ、アダプターを取りはずしてホースをHT20に差し込み、ホースバンドで取り付けてください。</p> <p>②給水管へ排水ホースをビニールテープなどで止めてください。</p>	<p>①</p> <p>ホースバンド アダプター</p> <p>ホース 排水管HT25</p> <p>②</p> <p>ビニールテープ</p> <p>ドライバー用アングル型止水栓 排水ホース 給水管</p>

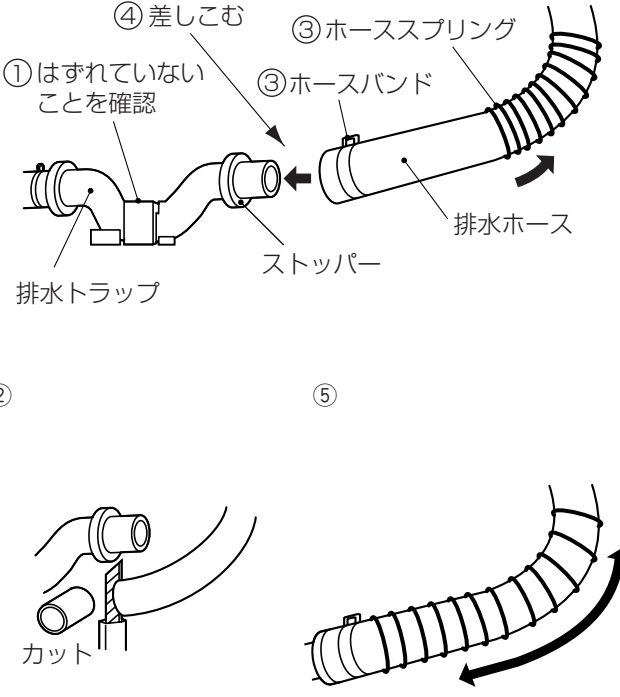
## 7. 電源コード・アース線の接続

作業手順	説明図
<p><b>警告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結しない。</li> <li>・コンセントを床面にころがして電源プラグを差し込み、使用しない。</li> </ul> <p>感電・漏電・火災の原因となります。</p>	<p>アース線</p> <p>上図のように差し込む</p> <p>禁止</p> <p>電源プラグの向きが逆です。</p> <p>①・②</p> <p>食器洗い乾燥機</p> <p>カウンター</p> <p>アース線</p> <p>コード</p>
<p><b>注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源プラグはコードが下方向に出るように、コンセントを奥まで確実に差し込む。</li> </ul> <p>上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火するおそれがあります。</p> <p>①電圧が100Vであることを確認してから埋め込みコンセントに電源プラグを差し込みます。</p> <p>②アース線をアースターミナルに接続します。</p> <p>※ガス管・水道管・電話のアース線・避雷針などのアース線には絶対に接続しないでください。(法令などで禁止されています。)</p>	

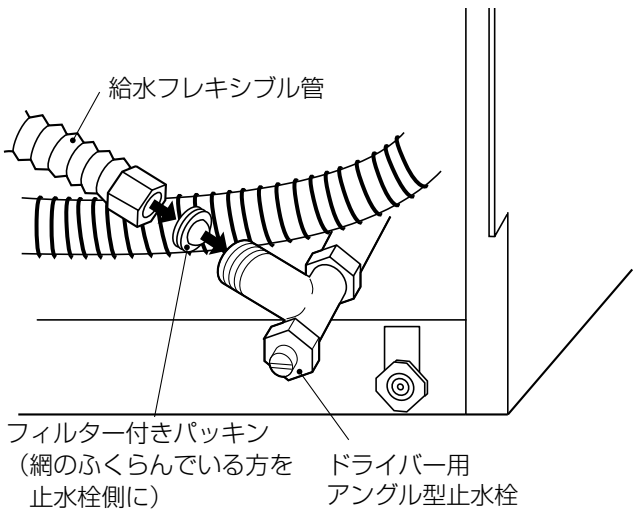
## 8. 本体のビルトイン

作業手順	説明図
<p><b>⚠ 注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビルトインのとき電源コード・アース線・排水ホース・給水管などにキズをつけない。とくに電源コードは、転倒防止金具と調整脚との間に挟み込まない。感電・漏電・火災・水漏れの原因となります。</li> </ul> <p>①隣接する機器などに注意し、給水管・排水ホースが台枠のトンネル部を通るように本体の下方をゆっくりと押しながらビルトインしてください。 ※本体の金属部分が家屋の壁中のラス網や金属板・流し台のステンレス天板と電氣的に接触しないようにしてください。 (電気設備の技術基準の解釈により義務づけられています。)</p> <p>②機器本体のドア面とキッチンのドア面を合わせてください。 ※本体の調整脚が転倒防止金具にセットされたかドアを開け、軽くドアに荷重をかけて調べてください。</p>	

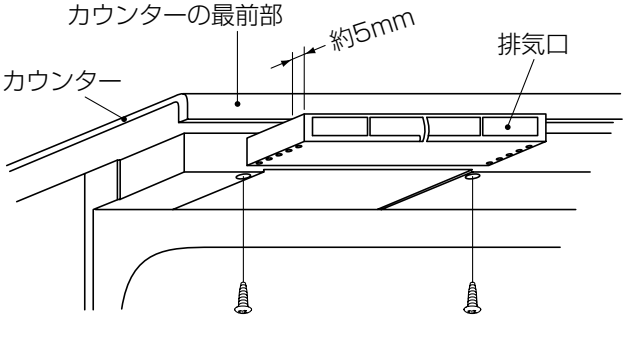
## 9. 排水ホースの接続

作業手順	説明図
<p>①機器本体の排水ホースを接続した排水トラップは、本体の所定の位置にはめ込んでいます。はずれていないことを確認してください。</p> <p>排水トラップをベースからはずした場合は、必ずもとの位置にはめ込んでください。</p> <p>②排水ホースは若干長めになっています。排水ホースが折れないように排水トラップに合わせてカットして調節してください。 (このとき、排水ホースをねじらないように注意してください。)</p> <p>③排水ホースセットにホーススプリングを入れ、ホースバンドを付けてください。 (トラップ機構として法令上必要です。)</p> <p>④排水ホースセットを排水トラップのストッパーまで差しこみホースバンドで止めてください。</p> <p>⑤ホーススプリングを排水ホースセットの曲がり部全体にセットしてください。</p>	

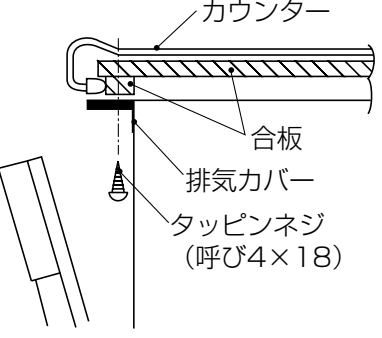
## 10. 給水フレキシブル管の接続

作業手順	説明図
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>⚠ 注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>給水フレキシブル管は切断しない。 水漏れの原因となります。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>必要以上に強く締め付けますと、パッキン部がやぶれますので注意してください。</li> <li>ドライバー用アングル型止水栓にフィルター付きパッキンを入れ、角度を合わせて給水フレキシブル管（本体）を確実に接続します。（フィルター付きパッキンは給水フレキシブル管にテープ止めて付属。）</li> </ul>	

## 11. 排気口の調節

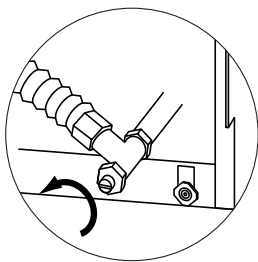
作業手順	説明図
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>⚠ 注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>排気口の調整は必ず行う。 カウンターの裏面芯材に腐食などの支障をきたすおそれがあります。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>ドアを開いて排気口下部の締め付けネジ（2本）をはずし、排気口の前面がカウンターの最前部より5mm程出るように締め直します。</li> </ul>	

## 12. カウンターへの固定

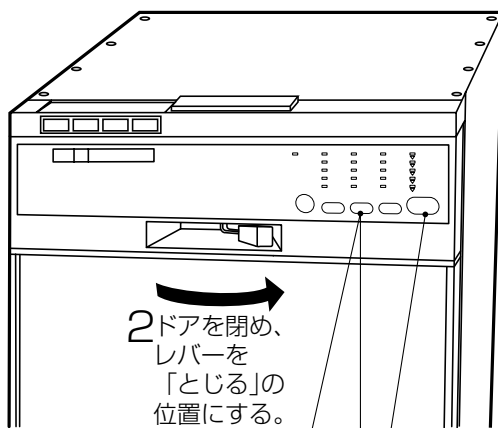
作業手順	説明図
<ul style="list-style-type: none"> <li>本体のドアを開けて、カウンター合板部へ直接タッピンネジ2本で固定してください。 ※人工大理石カウンターなど、できないものもあります。</li> <li>固定時、タッピンネジがカウンターの金属部に接触しないようにしてください。 ※電気設備の技術基準の解釈により義務づけられています。</li> </ul>	

## 9. 試運転（試運転時はドアを開けないでください。）

- ◎試運転を行う前に、電源の通電と給水の開栓を確認してください。
- ◎次の手順で試運転を行ってください。



1 止水栓を開く



3 コーススイッチを2秒間押し続ける。  
"ピッ"というブザー音が鳴ってもコーススイッチを押し続けておいてください。

4 コーススイッチを押しながらスタートスイッチを押す  
「運転しました」と音声報知する。  
(LED「標準」が点滅する)

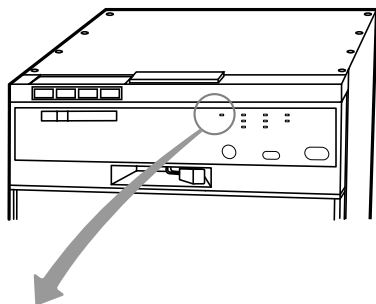
### 次のチェックを行ってください。

- ①一定量の水がたまるまで、「シャー」という給水音がすることを確認してください。
- ②次にシャワーを噴射しながら庫内のノズルが回転します。このとき、「バシャバシャ」という音がするか確認してください。
- ③運転終了後、「運転が終了しました」と音声報知します。この後電源が切れ、全てのランプが消灯したか確認してください。
- ④運転中、給水管・排水管の接続部やその他からの水漏れが無いことを確認してください。
- ⑤ドアを開け、庫内の水が排水されたことを確認してください。  
(残さいフィルターの下に若干の水が残りますが、これは異常ではありません。)

・試運転後は、電源コンセントは差し込んだまま（機器専用ブレーカーも「ON」のまま）給水栓は開いたままにしておいてください。

## ■異常報知について

◎試運転で下記のように音声報知やランプ表示で機器異常を知らせた時は下記の内容を確認してください。

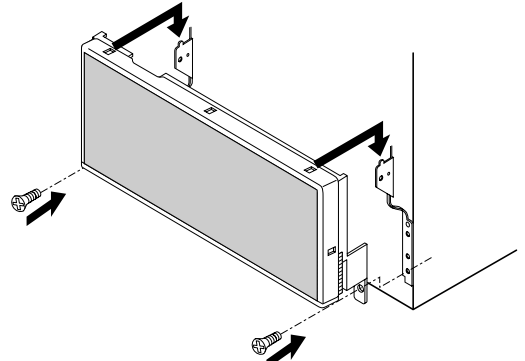


音声報知とランプ表示	内 容	処 置
<p><b>音声</b> 水漏れが発生しています。 水道栓を閉めてください。 点検修理が必要です。</p> <p><b>ランプ</b> 標準・念入り・スピーディ ランプが<b>1回点滅</b></p> <p> <input type="checkbox"/>標準    <input type="checkbox"/>快速    <input type="checkbox"/>ドライ  <input type="checkbox"/>念入り    <input type="checkbox"/>乾燥のみ    <input type="checkbox"/>高温すぎ  <input type="checkbox"/>スピーディ    <input type="checkbox"/>予洗い         </p>	<p><b>漏水異常</b></p> <p>〔機内の水通路の接続部や給水バルブの接続部などからの水漏れが発生していることを示しています。〕</p>	<p>①電源ブレーカーを切る。 ②水抜栓部のゴムキャップをはずし、底板にたまった水を抜く。 ※水受けできるような皿を準備してください。 ③水抜き後、ゴムキャップを差し込む。 ④電源ブレーカーを入れる。</p> <p>水抜き用パイプ ゴムキャップ 水受け</p>
<p><b>音声</b> 水道栓が閉まっている可能性があります。点検してください。</p> <p><b>ランプ</b> 標準・念入り・スピーディ ランプが<b>2回点滅</b></p> <p> <input type="checkbox"/>標準    <input type="checkbox"/>快速    <input type="checkbox"/>ドライ  <input type="checkbox"/>念入り    <input type="checkbox"/>乾燥のみ    <input type="checkbox"/>高温すぎ  <input type="checkbox"/>スピーディ    <input type="checkbox"/>予洗い         </p>	<p><b>給水異常</b></p> <p>〔断水や給水管が詰まっているか、水道管の凍結あるいは水栓の開け忘れなどで給水できないことを示しています。〕</p>	<p>①電源ブレーカーを切る。 ②水栓（給水栓および機器内の止水栓）が開いているか確認する。 ※断水の場合は、断水の回復を待つ。 ③電源ブレーカーを入れる。</p>
<p><b>音声</b> 異常があります。 点検修理が必要です。</p> <p><b>ランプ</b> 標準・念入り・スピーディ ランプが<b>3回点滅</b></p> <p> <input type="checkbox"/>標準    <input type="checkbox"/>快速    <input type="checkbox"/>ドライ  <input type="checkbox"/>念入り    <input type="checkbox"/>乾燥のみ    <input type="checkbox"/>高温すぎ  <input type="checkbox"/>スピーディ    <input type="checkbox"/>予洗い         </p>	<p><b>排水異常</b></p> <p>〔排水ホースの折れや、異物の詰まりによって、排水できないことを示しています。〕</p>	<p>①電源ブレーカーを切る。 ②排水ホースが折れ曲がっていないか確認する。 ※折れ曲がっていた場合、折れ曲がっている部分に必ず同こんのホーススプリングを挿入する。 ③電源ブレーカーを入れる。</p>

・上記処置後、再度試運転を行ってください。

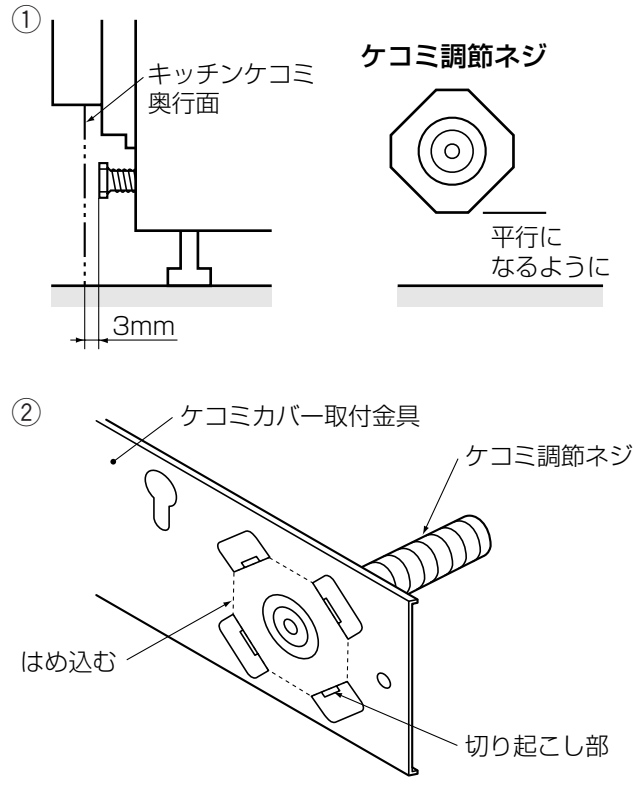
# 10. 試運転終了後の作業

## 1. 配管カバーの取り付け

作 業 手 順	説 明 図
<p>・ 配管カバーの上部の穴を本体突起部にひっかけてから下部をネジで締め付けてください。 (左右2ヶ所)</p>	

## 2. ケコミカバーの取り付け

### 2-1 ケコミカバーの奥行調節

作 業 手 順	説 明 図
<p>・ この機器のケコミ奥行寸法は現場で調節できるようになっています。</p> <p>①ケコミ奥行寸法の調節 ベースの前面下部に組み込まれている〔ケコミ調節ネジ〕を隣接するキッチンのケコミ奥行面から3mm奥まった位置になるようにしてください。このとき〔ケコミ調節ネジ〕の四角の頭部の一辺が床面と平行になるようにしてください。 ※左右の〔ケコミ調節ネジ〕の出代を合わせてください。</p> <p>②ケコミカバー取付金具の取り付け ・ 同こんの〔ケコミカバー取付金具〕の左右の切り起こし部に〔ケコミ調節ネジ〕の頭をはめ込んでください。 このときに、キッチンのケコミ奥行面から約2mm奥まった位置になるよう〔ケコミ調節ネジ〕の出代を再調節してください。 〔ケコミ調節ネジ〕は90°まわすと出代が1mm変化します。〔ケコミカバー取付金具〕の表面に刻印されている〔上・下〕を確認し、まちがわないようにしてください。 ・ 同こんのタッピンネジ(2本)で〔ケコミカバー取付金具〕を取り付けてください。</p>	

## 2-2 ケコミカバーの切断

・同こんのケコミカバーを裏面のV溝に沿ってカッターナイフなどで切断してください。キッチン高さやケコミの奥行寸法によって、切断箇所が異なりますので注意してください。

作業手順	説明図
<p>①ケコミ奥行きが40mm以上の場合はケコミカバー上部の「↓ケコミ奥行40mm～80mmの場合カット」の部分のカッターナイフなどで切断してください。</p> <p>②ケコミカバーとケコミカバー取付金具の穴位置が合う高さで、床面側のV溝に沿ってカッターナイフなどで切断してください。 ※切傷防止のため、カッターナイフなどで切断面の端面処理をしてください。</p>	<p>※上図は切断位置の一例を示します。設置されるキッチン高さに応じて、ケコミカバーとケコミカバー取付金具の穴位置が合う高さで切断してください。</p>

## 2-3 ケコミカバーの取り付け

作業手順	説明図
<p>・同こんの黒色ネジ (M4×6) 2本でケコミカバーを本体に取り付けてください。</p>	

# 11. 仕様

電源電圧	単相交流100V	使用水量 (標準コース)	約21.5L	標準収納 容 量	大皿 8枚 中皿 8枚 小皿 10枚 茶わん 8点 吸物わん 8点 湯のみ 8点 コップ 8点 計58点  他に ナイフ・スプーン・ フォーク・しゃもじ・ さいばし
周波数	50/60Hz共用	使用水圧	0.03~1MPa(0.3~10kgf/cm <sup>2</sup> )		
消費電力	・ポンプモーター 洗浄時：145W/187W 排水時：147W/188W ・ヒーター 1080W ・最大消費電力 1225W/1267W	洗浄方式	回転ノズル噴射式		
		すすぎ方式 (標準コース)	水すすぎ 2回 加熱すすぎ 1回		
定格電流	50Hz：12.3A/60Hz：12.7A	乾燥方式	ヒーターとファンによる 強制排気乾燥		
外形寸法	幅448mm×奥行580mm×高さ750mm				
製品の質量	約32kg				

株式会社 **ハ-75**